

# 外国人介護リーダー育成へのこれまでの歩み

---

社会福祉法人キリスト教ミード社会館  
大阪コミュニティワーカー専門学校  
副校長 三前 良平

# はじめに 大阪コミュニティワーカー専門学校のおゆみ

---

1984年:コミュニティケア科 第Ⅰ部(2年制)開校

1997年:コミュニティケア科 第Ⅱ部(夜間部 3年制)開校

2000年代後半から急激に入学志願者が減少・・・

コミュニティケア科 第Ⅰ部 入学志願者数  
1999年度:95名    2006年度:20名

「学校」を続けるためにはどうすれば良いのか・・・

各種事業や講座での受講者との関り

2008年度よりEPA介護福祉士候補者の受入が開始

# 留学生受入の変遷

---

様々なライフスタイルに合わせて学べる学校・外国人介護福祉士養成の可能性

2016年:コミュニティケア科 第I部(3年制)開校

※2016年11月、入管難民法が改正 2017年度より留学生の受入れを開始

2017年度入学者  
日本人学生:5名  
中国人留学生:2名  
ベトナム人留学生:33名

2018年10月  
「適正校」認定

2023年4月  
3学年合計で約130名の留学生が在籍  
現在までにベトナム・中国・インドネシア  
ネパール・韓国・ミャンマー・スリランカ  
モンゴル・バングラデシュ・香港・台湾  
様々な国と地域の留学生を受入れている

# 3年制としての当校の特徴

ゆとりを持った期間での学び

---

授業は基本的に9:30～12:40

「学業」と留学生生活を継続するための「アルバイト」の両立

実習は1週間単位で実施

# 3年制としての当校の特徴 ゆとりを持った期間での学び

---

## 学費納入の配慮

年間60万円の授業料を毎月支払いに分割

## 学校での学びと介護現場での実践(アルバイト)

その両輪で即戦力となりうる外国人介護福祉士を目指す

※介護福祉士修学資金制度の利用率は現在1割程度

# 学生募集活動と留学生教育での課題と問題点

---

管理・指導の面で、特に当初の2年間は様々な問題が発生した。

2016年に創設された新しい在留資格「介護」

留学生を対象とした学生募集の経験不足

入学者の「介護」に対する理解の不足、そして我々の説明の不足

# 学生募集活動と留学生教育での課題と問題点

---

## 介護施設でのアルバイトにおける問題点

受入当初の留学生は短期間で辞めてしまう事例が多かった

## 学生の妊娠

留学生の場合は「在留資格」の問題により学業継続が困難

※平均初婚年齢、出産年齢、文化などが日本とは異なる

# 学生募集活動と留学生教育での課題と問題点

---

日本語学校との信頼関係の構築

外国人介護リーダー育成への取り組み、将来性

オープンキャンパス(学校説明会)での取り組み



# 今後に向けて

---

当校の国家試験合格率の推移

# 今後に向けて

---

## 当校在籍者の国籍の動向

受入当初はベトナム人留学生が圧倒的に多かったが・・・

「ひとりひとり」の学生と真摯に向き合い、互いを高めあう関係性の構築